

# 計画策定の進め方について

---

国土交通省北海道局

令和4年7月11日

# 計画策定の進め方について(案)

第8期北海道総合開発計画中間点検報告書（令和3年2月 国土審議会北海道開発分科会計画推進部会）

- 第9回計画推進部会（令和3年7月20日）：「新たな北海道総合開発計画を策定すべき」との提言
- 第25回北海道開発分科会（令和3年10月14日）：計画部会において新たな計画案の作成に必要な調査審議を行うことを決定
- 第1回計画部会（令和4年3月28日）：新たな北海道総合開発計画の策定に向けた調査審議を開始

## ステップ1：我が国及び北海道を取り巻く潮流と北海道の役割（第1回計画部会）

### （1）我が国及び北海道を取り巻く潮流

#### 【我が国及び北海道を取り巻く潮流】

- ①深刻化する人口減少・少子高齢化、人口の偏在
- ②「豊かさ」をめぐる価値観の変化
- ③気候変動と自然災害の激甚化・頻発化
- ④国際環境の変化と資源需要の増大
- ⑤社会を変える新技術

#### 【北海道のポテンシャル】

広大な大地    食料供給力    資源・エネルギー    自然環境・文化    地理的特性    寒冷地技術

### （2）北海道の役割

- ①分散型国づくりを支える地方創生を先導する
- ②豊かな土地・水資源等を活かして我が国の食料安定供給を支える
- ③豊富な地域資源を活かして我が国の脱炭素化を先導する
- ④国民共通の財産である北海道の自然環境・文化を受け継ぐ
- ⑤生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりを図る
- ⑥競争力のある産業を育成し日本の経済成長に貢献する

## ステップ2：2050年における北海道のあるべき姿

# 計画策定の進め方について(案)

## ステップ2: 2050年における北海道のあるべき姿(第2回計画部会)

### (1) 北海道の現状と将来の懸念

- ①我が国の課題解決に貢献するために北海道がその役割を果たすにあたり、現在の北海道はどのような状況にあり、将来に向けてどのような懸念があるのか

### (2) 2050年の北海道のあるべき姿

#### ①ターゲットイヤーの設定

2050年を見据え、バックキャストを意識して『北海道のあるべき姿』の検討を進めていく

#### ②『北海道のあるべき姿』を描く視点

2050年を見据えた北海道の全体像を、主に以下の項目からイメージする

- |                    |                   |                |
|--------------------|-------------------|----------------|
| ・地域づくり・まちづくりに関すること | ・農林水産業・関連産業に関すること | ・自然環境の保全に関すること |
| ・交通・物流・情報通信に関すること  | ・観光に関すること         | ・エネルギーに関すること   |
| ・防災・減災、国土強靱化に関すること | ・産業の振興に関すること      | ・文化に関すること      |

- ③国の課題解決に貢献する北海道の役割に照らして、2050年を見据えた『北海道のあるべき姿』を考える

## ステップ3: 基本的な考え方及びあるべき姿に向けた道のり

# 計画策定の進め方について(案)

## ステップ3: 基本的な考え方及びあるべき姿に向けた道のり(第3回計画部会)

### (1) 新たな北海道総合開発計画の基本的な考え方について

- 2050年の北海道のあるべき姿を踏まえ、新たな計画における北海道開発の意義をどのように考えるか
- 今後10年の新たな計画の進め方の理念をどう考えるか

### (2) 北海道のあるべき姿に向けた道のりについて

- 2050年における北海道のあるべき姿の実現に向けた道のり(概ね10年の主な方針)を示す
- 北海道のあるべき姿の実現に向けて、科学技術等の動向・今後期待される各種イノベーション(例)を示す

## ステップ4: 新たな北海道総合開発計画の策定

### 検討事項(案)

- 北海道開発の経緯、北海道開発がこれまでに果たしてきた役割
- 第8期北海道総合開発計画の進捗状況と評価
- 新たな北海道総合開発計画において目指すべき目標は何か
- 目標の達成に向けてどのような施策を推進するべきか
- 新たな計画の進捗状況をどのように管理していくか

※調査審議の進め方には変更があり得る